

多摩

No.16

組報 多摩 No.16
発行日 2016年11月1日
浄土真宗本願寺派
東京教区 多摩組
事務所/西照寺内
東京都調布市若葉町1-39
〒182-0003 TEL03-3300-7734
<http://www.tama-so.org/>

本願寺「伝灯奉告法要」

団体参拝募集

多摩組参拝日

2017年4月28日(金)

★2泊3日コース(姫路～天橋立～大津～京都本願寺)

4月26日(水)～28日(金)

★1泊2日コース(大津～京都本願寺)

4月27日(木)～28日(金)



そうだ!
「伝灯奉告法要」へ行こう!

十月一日から、京都本願寺において、「専如門主・伝灯奉告法要」が厳修されており。

多摩組では、団体参拝を計画し、参加者を募集致します。多摩組の参拝日は、二〇一七年四月二十八日(金)です。

そこで、姫路～天橋立～大津～本願寺・法要の二泊三日のコースと、米原～大津～本願寺・法要の一泊二日のコースの2コースを企画致しました。

2コースともに大津のホテルに集合・宿泊し、法要参拝日には一緒に本願寺の法要に参拝致します。参加費などの詳細については、検討中のところもありますが、参加ご希望の方は、各ご住職にご相談お申し出下さい。

法要は、新しく制定された「奉讃伝灯作法」をお勤め致します。正信偈・念仏・和讃のお勤めになります。阿弥陀堂と御影堂の両堂において同時に法要がお勤まりになります。参拝席は椅子席で、両堂併せて二千席以上設置されております。

また、関連行事として様々な催し物があります。龍谷ミュージアムでは、「浄土真宗と本願寺の名宝」と題して、貴重な法宝物などの展示会が開催されています。境内各所においても、みやげ物やパネル展などお楽しみがいっぱい。是非、ご家族お誘い合わせいただきご参詣下さい。

「公開講座を終えて」

多摩組実践運動委員長

ふじわらただふさ
藤原 忠房



在宅緩和ケア診療所「いっぽ」の医師
萬田緑平先生

本年二月二十七日、武蔵野大学雪頂講堂において、多摩組主催の公開講座「最期まで目一杯生きる」が行われました。講師には、在宅緩和ケア診療所「いっぽ」の医師 萬田緑平（まんだりよくへい）先生をお迎えし、講演と実際の現場を映した動画を鑑賞しました。

雪頂講堂は満堂で六百人を収容できる大会場。多摩組としては、組や宗派を超えた過去に例のない規模での、初の公開講座開催でありました。当日の参加者がどれほど集まるのか心配されましたが、組内の皆様の多大なるご尽力、ご協力の甲斐もあり、四百人を超える方々が足を運んでくださり、会場の約七割が埋まりました。

そして萬田先生のお話と現場を映した動画に、一同大きな感動に包まれ、中には嗚咽を漏らす方もいました。

緩和ケアは、とかくケアする側の論理で行われがちですが、萬田先生は、ケアされる側の望むようにしてあげることがご本人にとって最も良きケアであり、それがまたケアする側にとっても最良のケアになることを、講演や動画で教えてくださいました。

動画で拝見した末期の患者さん、大切な身内を亡くしたばかりのご家族。ともに満足感に満ち溢れた表情をされており、これが間もなく死を迎えようとしている人なのか、これが今まさに大切な人を亡くしたばかりの人なのかと驚かされました。そこには患者の希望を叶えて、その人らしく最後まで目一杯生きていく（生きた）方だからこそその満足感なのだと思われました。

二人に一人ががんになる時代。がんとの向き合い方、がん患者との接し方等、大いに勉強になる公開講座でありました。ご尽力、ご協力頂きました皆様、この場を借りまして改めて御礼申し上げます。



武蔵野大学雪頂講堂



たくさんの聴講者

お知らせ

多摩組玄忠寺住職 五十嵐大作師
本年四月十日ご往生 七十二歳



最後まで目一杯生きる

まん だ りよくへい
萬 田 緑 平

(在宅緩和ケア医)

死がづらいわけ

「死ぬことは怖くないけれど、死の苦しみ（痛み、つらさ）が怖い」という患者さんは多い。そんな患者さんに僕は話します。「こうして、自宅で自由に生きることが家族に支援されている方は、死の苦しみはないように見えます。皆さん、亡くなるその日までしゃべっています。歩いている人もいます。つらい日々が続いて、介護されて、家族に迷惑かけて亡くなるなんてことはありません。安心してください。死ぬことは考えなくても大丈夫です。それよりも、今のまま、精いっぱい自分らしく生きることを考えてください。」話を聞いた本人があまりにもうれしそうに顔、安心したような顔になるので、家族もホツとします。

僕が感じる“死の恐怖”の理由は“死を避ける”から。そして“自分の好きなように生きられない”からだと思います。皆さんの見ている死は、死や死の恐怖から逃げ回っている姿。そして人生の最終章を自分で決めさせてもらえず苦しんでいる姿です。“死や死に追いやる病氣”がそうさせているのではなく、本人、家族の心の状態がつかれているのだと思います。これは医療では解決できない問題なのです。

私の仕事は「在宅緩和ケア」。がん終末期のいつか亡くなっていく患者さんが、自宅で目いっぱい生き抜くことを手伝いさせていただく仕事です。「緩和ケア」とは「終末期

の心や体のつらさを緩和する」という意味です。実は、薬だけでつらさがすべて緩和させられるわけではありません。つらさのほとんどが本人、家族の心の状態に起因しているのです。だから反対に、死と落ち着いて向き合うことができている本人、家族には、僕らはほとんど活躍の場面がありません。生活の後ろ盾となるだけです。

いままで自分で書き続けた人生のシナリオ。最後の最後まで自分で書き続けさせてあげてほしい。それが唯一の“死がつかない方法”だと思います。

つらい言葉「頑張れ」

本人の意思を支援して

死を意識した人は大抵、心も体もいろんな状況がつかなくなる。その頑張っていてつらい状況で周囲から言われることは「頑張れ」。こういうとき、日本人は「頑張れ」という応援の仕方しか知らない。特に「最期まで諦めずに応援するのが家族の使命だ」と思っていることが多い。一番つらい時に「さらに頑張れ」と言われる本人は、つらいに決まっている。頑張りが足りないのに頑張らなければならぬ。頑張りが足りないが、本人が「頑張りが足りない」ともつらいが、本人が「頑張りが足りない」と「だめな人間だ」「諦めるのは弱い人間」と非難され、家族から孤立してしまうことが多々あるのだ。なかなか「頑張らないこと」は支援してもらえない。さらに、そんな時本人は「死にたい」と言うことがある。「死にたい」のではない。「死にたいくらいつらいのを分かかってほしい」という叫びに聞こえる。大勢の家族に囲まれているのに孤独なのだ。それこそ“孤独死”だ。

「頑張って生きたい気持ち」だけではな

く、「頑張りが足りない気持ち」も支援してあげたい。揺れ動く両方の気持ちがある人には、両方の気持ちを支援してあげてほしい。そう、本人の意思を徹底的に支援してあげてほしい。それがどんなに揺れていても支援できるのは家族だけだから。頑張らない！諦めるのではない。頑張れば生きられる時間が長くなるわけではない。本人らしく生きた方が、よりよく生きられる。よりよく生きた方が長く生きられる。その方が、本人も満足するし家族も満足する。私は「目いっぱいの人らしく生き抜くことを支援してほしい」と思っている。

緩和ケアとは

よりよい「生」を支える

緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の体や心などのさまざまなつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケアです。がんと診断された時から緩和ケアを受けた方がいいと告げられています。その方が長生きできるという報告もありません。緩和ケアは治療をしないというわけではありません。「がんと闘う」治療ではなく、「がんにまつわる症状を和らげる」治療をするところなのです。

緩和ケアは生きることが諦める選択ではありません。よりよく生きるための有効な手段だということを知ってもらいたい。いつか緩和ケアの概念がきちんと広まり、緩和ケア医が増え、早期から緩和ケアを受ける患者さんが増えれば、「つらい延命治療」「つらい死」という言葉が少なくなるのではと願っています。

(東京ビハーラ通信より)

仏教壮年会

多摩組仏教壮年会連盟理事長

井上義次 いのうえよしじ

多摩組仏教壮年会連盟の活動

一、多摩組主催公開講座（仏壯・総代世話人・僧侶合同研修会） 二月二十七日（土）
於武蔵野大学（雪頂講堂） 参加者四五〇名
講師 萬田緑平師「最期まで目一杯生きる」

二、理事研修会 五月十一日（水） 於静岡
東組長照寺 出席者 理事九名住職一名
法話 正しいお釈迦様の教えを学ぶことが大切。地域での葬儀屋主導の多額の費用が掛かった葬儀を問題視し、仏事にお金を掛けないという方針、葬儀の際には箸でなく手で収骨を行う開教を進めた。

三、多摩組総代世話人会・仏教壮年会合同研修会
十月一日（土） 於圓福寺にて
講題「日本文学における仏教」
講師 松本順昭師（中組一音寺住職）

東京教区仏教壮年会の活動

第三十六回東京教区仏教壮年会連盟

結成記念日研修会

二月二十一日（日）～二十二日（月） 於箱根
「湯本富士屋ホテル」
今井雅晴師（筑波大学名誉教授）講演
「親鸞聖人の東国での足跡」二七六名参加
北條祐勝師（鎌倉組光明寺住職）講演

講演内容は、鎌倉周辺での一切経校合時に親鸞聖人はこの地に来ている伝承は、歴史学者は認めていないが、証拠になるものとして講演している。

東京教区仏教壮年会連盟総会並びに大会

五月十四日（土） 築地本願寺にて開催。

記念法話 谷間徹誠師（仏教壮年会連盟講師・石川教区江南組光榮寺）

われわれ仏教壮年は自らの生き方を親鸞聖人のみ教えに聞き、ともにお念仏申す朋友の輪を上げ心豊かに生きる社会の実現をめざします、と綱領の大切さをお話し頂いた。

理事一泊研修会 九月一日（木）～二日（金） 栃木南組観専寺にて開催。

第三十七回東京教区仏教壮年会連盟結成記念日研修会は、二〇一七年二月十九日（日）～二十日（月）、鬼怒川温泉「きぬ川ホテル三日」の予定。（栃木南組・栃木北組担当）

第八回東日本（第一連区）仏教壮年会大会

七月三十日（土）～三十一日（日）
本願寺長野別院にて開催されました。

総代世話人会

多摩組総代世話人会代表

つちだ よしゆき
土田 良幸

東京教区門徒総代連絡協議会

① 第一回門徒総代・世話人会
六月二十一日（火）午後三時
於築地本願寺

・今年度の活動計画案の承認
・東京教区門徒総代・世話人一日研修会のテーマ、講師の決定

② 第二回門徒総代・世話人会
八月二日（火）午後三時 於築地本願寺

・東京教区門徒総代・世話人一日研修会の役割分担・他

③ 第三回門徒総代・世話人会開催予定
平成二九年一月十七日（火）午後三時
於築地本願寺

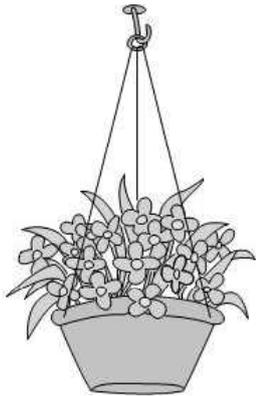
東京教区門徒総代・世話人一日研修会

九月四日（日）午前十時～
於築地本願寺第二伝道会館蓮華殿

・講師 西原祐治師
（東京仏教学院講師・千葉組西方寺住職）
午前「伝灯奉告法要をお迎えするにあたって」
午後「浄土真宗の門信徒として」

多摩組総代・世話人実行委員会

① 多摩組総代世話人会・仏教壮年会合同研修会
十月一日（土） 於圓福寺にて
講題「日本文学における仏教」
講師 松本順昭師（中組一音寺住職）
② 総会の開催予定 平成二九年三月



仏教婦人会

東京教区仏教婦人会連盟多摩組代表

覺證寺門徒 高橋理恵子
たかはしりえこ

去る五月、教区婦人会連盟総会を経て委員として、二年目の活動が始まりました。活動の要領がわかり、心たのしく励んでおります。新年のご本山報恩講参拝、六月の念仏奉仕団参加、七月築地本願寺へご門主様ご巡回ご順拝をお迎えと、新しいご門主さまに、みたびもお目にかかれた慶びを、かみしめてこの頃でございます。

平成二十七年教区婦人会連盟の活動報告です。

委員会 四月二十一日・七月十日・十二月十一日・三月十一日【築地本願寺伽羅にて】。

総会 五月十九日【築地本願寺本堂】、(ダーナ募金実施)

一泊研修会 九月二十九日・三十日【群馬県水上】「花燃ゆ」によせて、篤き信心の人、揖取寿(かとりひさ)について(ダーナ募金実施)

築地本願寺報恩講団体参拝 十一月十二日、(ダーナ募金実施)

委員一泊研修会 平成二十八年一月十二日・十三日、本山御正忌報恩講参拝【西本願寺・大谷本願寺・西山別院】

如月忌法要及び第一回ダーナ部会 二月七日(ダーナ募金配分先について)

一日研修会 三月一日【築地本願寺本堂】(ダーナ募金実施) 東北被災地の現況について。

また、ダーナ部員としてあそか園での奉仕活動は、ホーム喫茶のお手伝い。六月二十七日・八月二十九日・十一月十四日・二月十三日
健康と時間に恵まれて、いずれの行事も欠かすことなく参加することができましたことを、ありがたく思っております。

門徒推進員連絡協議会

門徒推進員連絡協議会世話人

あさきじゅんざぶろう
麻木純三郎

メンバーは昨年度と同じく二十五名です。内十一名は圓成寺に所属しています。活動状況についてご報告致します。

(1) 読書会・話し合い会の継続

「ごえん」(浄土真宗本願寺派) VOL1「結ぶ絆から広がるご縁」から、VOL4「いのちと死をみつめて」をテキストに実施していましたが、七月で終了しました。

新しいテキストは、「仏教聖典」(仏教伝道教会)に決定しました。仏教の原点を改めて学び直したいと考えています。

(2) 第一連区門徒推進員実践運動研修会

二年に一回開催され、今年は長野教区主催で、六月四日(土)～五日(日)長野別院で開催されました。各教区(東北・東京・国府・新潟・長野)より、事例報告が発表されました。講義は「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」門徒推進員としての喜びと悩みをテーマに、内田正祥師(連研中央講師・東海教区三重組正覚寺住職)が寺院活動の実例をあげ、問題提起されました。

テーマをもとに話し合いは班別に分れ、二日間にわたり熱心に行われ、充実した研修会でした。(参加者一〇六名)

(3) 東京教区門徒推進員連絡協議会研修会

今年九月十一日(日)～十二日(月)神奈川県三浦市のマホロバ・マインズ三浦で行われました。(担当三浦組)参加者百十三名、多摩組からは三名が参加。二日間にわたり講義が行われ、テーマは「門徒推進員の自覚と活動」。門徒推進員のみなさんはどんな活動をしていますか?講師は野村康治師(連研中央講師・大阪教区中島東組瑞松寺住職)でした。

一日目は各組(三浦組・栃木南組・多摩組・静岡西組)の活動発表、二日目は班別話し合いと中味の濃い研修でした。

(4) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要に出席

九月十八日(日)国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で、ご門主を始め宗門関係者、各国大使・公使、国会議員等多数の関係者が出席し盛大に厳修されました。

昨年に引き続き、今年も多摩組からは十二名の関係者が出席しました。

(5) 連続研修会の支援体制について

来年六月以降スタート予定とのこと、運営の支援につき準備を検討中です。具体的な体制は、五月の門徒推進員連絡協議会総会で決定する予定です。

(6) 東京教区広報委員会の活動に参加

昨年に引き続き、広報委員として広報委員会の活動に参加しました。(年四回) 具体的には教区報の編集に協力しました。

以上

中ブロック門徒子弟研修会

お坊さんとさまーきゃんぷ

ー夏の思い出に

お坊さんとキャンプは

いかがですか！

今年の中ブロック門徒子弟研修会は「お坊さんとさまーきゃんぷ」と題し、藤野芸術の家（神奈川県相模原市）をメイン会場に開催された。

八月十九日（木）から二十日（金）の2日間、前回は上回る三十六名もの東京都内の子どもたちが集い、スタッフを含め総勢七十七名となった。

一日目は、集合場所兼開会式会場となった圓城寺を後に、相模原市の服部牧場にお



↑牛の乳搾り（こわいわ）



↑手に水入りのビニール袋！いったい何を？

いて牛の乳搾りを体験。つづいて、メイン会場となる藤野芸術の家では、チーム対抗でのゲーム大会、バーベキュー、夜の集いには、鳴海兄弟（町田布教所 高源寺）によるボイスパーカッションを交えた見事な音楽ライブが披露された。

二日目には、クラフト制作。低学年は木材を使ったオブジェを作成、高学年はガラスに砂を吹きつけて彫刻するサンドブラストに挑戦。子どもたちの独創力に驚かされた。当初、一日目に予定していた川遊びであったが、六月頃から続く熊出没の影響で、川辺に近寄ることができなくなっていたが、熟練のスタッフによる現場対応で子どもたちは有意義に過ごしていた。



↓サンドブラスト挑戦中

↑鳴海兄弟熱唱中！



「来年も来るよ～」 「また会おうネ！」

また、その折々に、仏事作法の練習、法話を聴聞し「ほとけの子」としてのお育ても、しっかりと受けたようだ。

毎年ながら、それぞれに成長し、サブリーダーとして関わってくれる卒業生たちをはじめ、中ブロック関係者方々、実に多くの「おかげさま」と皆さまの「まごころ」によって、子どもたちにとっては思い出深い夏の二日間となったのではないだろうか。また、来年もみんなに出会えることを楽しみにしたい。（溝口）

住職に聞きました

お寺を訪ねて

ほんこうじ
本光寺(八王子市散田町)

今回お訪ねしました紫雲山本光寺はJR西八王子駅と京王線めじろ台駅の間にあり閑静な住宅地の中にあります。

ご住職田中久遠師・副住職田中無量師と坊守さま三名が迎えて下さり、本堂で参拝した後、お話を伺いました。



田中久遠住職と田中無量副住職

ご住職と副住職を紹介致します。ご住職は東洋大学大学院仏教学専攻修士課程を修了され、布教使をされており、住職になられてから約四十年となります。副住職は、ご子息で中央大学法学部卒・東京仏教学院本科卒の後、龍谷大学大学院文学研究科真宗学専攻に進学され、龍谷大学で、博士(文学)の学位を取得、博士課程を修了されました。親鸞聖人の思想の教理史的研究を専門とされています。

現在は、副住職の他に龍谷大学非常勤講師や千代田女学園中学高等学校宗教科教諭、武蔵野大学仏教文化研究所研究員としてもご活躍です。

本光寺は、平安時代に香川県高松市にある紫雲山に建立されていた本光寺が起源としています。その本光寺は鎌倉時代に現在の滋賀県彦根市に移りました。当時は天台宗でしたが、室町時代に本願寺中興の祖である第八代蓮如上人の御教化により、浄土真宗に改宗しました。それ以後、浄土真宗本願寺派の末寺となりました。

現在の本光寺は、昭和五〇年に初代住職田中義雄師が開基し、現在のご住職は第二代目です。義雄師は、彦根市本光寺で、生まれ育ちました。義雄師は、帯広別院、小樽別院で奉職しました。昭和十一年、築地別院(現築地本願寺)再建の時、別院に移りました。約四十年奉職し、約十年余り副輪番を勤めていました。

お寺の法要と行事は、元旦会・報恩講・彼岸会・盂蘭盆会・親鸞聖人降誕会・門徒追悼法要・除夜会が行われております。その他の活動としては、「仏教講座」は住職

と副住職がお話されています。「写経の会」「団体参拝旅行」は、坊守様が企画・計画などを受け持たれて、御門徒の皆さんとのご仏縁を深めておられます。

副住職は、研究者としての顔も持ち、論文著作などの執筆の傍ら、宗門関係の大学での生涯学習事業の講義を担当しています。昨年度は、武蔵野大学で一般の方に講義をされました。この十一月には、龍谷大学(REC)の事業として、東京(明治大学)で、親鸞聖人の和讃についての講義をします。こういった活動を通して、門徒の方たちは元より、一般の方達に対しても、分かりやすく親鸞聖人の御教えを広めていきたいとおっしゃっていました。

これからも、ご住職・副住職と坊守様の素晴らしいご協力の力で、御門徒に限らず多くの方々をご教化して頂くことを願うと共に皆様のご健勝とご活躍を念じながらお寺をあとにしました。(麻木・土田・松田)



本光寺正面

西本願寺 (京都・本山)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町

電話 075(371)5181

FAX 075(351)1211

築地本願寺・東京教区教務所

〒104-8435 東京都中央区築地3丁目15番1号

築地本願寺電話 03(3541)1131

教務所電話 03(3541)1666

東京教区多摩組寺院所在地

調布市

光徳寺 (こうとくじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-38-27
TEL03(3300)6431 FAX03(5384)3344
(法座:不定期 お問い合わせ下さい)

明西寺 (みょうさいじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-43-5
TEL03(3300)1901 FAX03(3300)2681
(法座:10日前後婦人会 1.4.8月壮年会)

延浄寺 (えんじょうじ) 〒182-0006
調布市西つつじが丘2-30-1
TEL03(3326)7337 FAX03(3326)5037
(法座:不定期 相談日第1土曜日午後予約)

長専寺 (ちょうせんじ) 〒182-0033
調布市富士見町1-35-4
TEL042(482)3411 FAX042(498)1105
(法座:不定期)

西照寺 (さいしょうじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-39
TEL03(3300)7734 FAX03(3300)7794
(法座:毎月8日・第4土曜 親鸞会)

光西寺 (こうさいじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-44-2
TEL03(3300)5054 FAX 同左
(法座:不定期)

光源寺 (こうげんじ) 〒182-0006
調布市西つつじが丘2-30-11
TEL03(3300)0881 FAX03(3308)6289
(法座:隔月奇数月 お問い合わせ下さい)

覺證寺 (かくしょうじ) 〒182-0033
調布市富士見町1-35-5
TEL042(482)5556 FAX042(480)0166
(法座:第1土曜日・聖典学習会 月1回)

正善寺 (しょうぜんじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-42-5
TEL03(3300)6064 FAX03(3300)6687
(法座:第1日曜日(1日なら8日))

安養寺 (あんようじ) 〒182-0003
調布市若葉町1-44-5
TEL03(3307)5605 FAX03(3307)5496
(法座:第1日曜日)

圓福寺 (えんぶくじ) 〒182-0022
調布市国領町1-10-11
TEL042(482)7955 FAX042(481)4734
(法座:不定期)

国立市

應善寺 (おうぜんじ) 〒186-0002
国立市東2-2-1
TEL042(572)0043 FAX042(572)0148
(法座:毎月第1土曜日 門徒会:偶数月中旬の日曜)

立川市

光西寺 (こうさいじ) 〒190-0021
立川市羽衣町3-20-16
TEL042(522)3413 <http://www.kousaiji.com/>
(法座:毎週金曜晚又は土曜昼 各種仏教講座)

小平市

照恩寺 (しょうおんじ) 〒187-0041
小平市美園町3-23-20
TEL042(341)2935 FAX042(347)4122
(法座:毎月13日・第1土曜・第4土曜)

青梅市

浄弘寺 (じょうこうじ) 〒198-0036
青梅市河辺町8-19-8
TEL0428(32)1769 FAX0428(32)2010
(法座:第3土曜日)

八王子市

専念寺 (せんねんじ) 〒192-0063
八王子市元横山町2-14-24
TEL042(644)3491 FAX042(648)6087
(法座:隔月1回 お問い合わせ下さい)

誓願寺 (せいがんじ) 〒193-0816
八王子市大楽寺町209-5
TEL042(651)0073 FAX042(651)6183
(法座:第3木曜日・毎月10日大楽の集い)

光照寺 (こうしょうじ) 〒192-0912
八王子市絹ヶ丘3-8-1
TEL042(635)3754 FAX 同左
(法座:不定期)

本光寺 (ほんこうじ) 〒1923-0832
八王子市散田町4-40-10
TEL042(664)2196 FAX042(663)2501
(法座:仏教講座 第3金曜日)

延立寺 (えんりゅうじ) 〒193-0802
八王子市犬目町681
TEL042(654)2429 FAX042(654)6930
(法座:第4月曜日)

大恩寺 (だいおんじ) 〒193-0943
八王子市寺田町1085
TEL042(668)0889 FAX042(668)1825
(法座:第2土曜・第4日曜・第1土曜(婦人会))

町田市

圓成寺 (えんじょうじ) 〒194-0004
町田市鶴間5-17-1
TEL042(795)0181 FAX042(795)0444
(法座:毎月28日)

(えんじょうじしゅっちょうしょ)
圓成寺出張所 〒194-0035
町田市忠生3-24-13
TEL042(792)3007 FAX042(792)3006

(まちだふきょうしょ こうげんじ)
町田布教所 高源寺 〒195-0063
町田市野津田町2534-20
TEL042(737)3236 FAX 同左
(法座:第2土曜・23日前後の平日)

多摩市

阿弥陀寺 (あみだじ) 〒206-0013
多摩市桜ヶ丘1-24-2
TEL042(375)8055 FAX042(337)4889
(法座:年3回・毎月28日 明宝会・毎月15日前後
極楽トンボ会)

稲城市

玄忠寺 (げんちゅうじ) 〒206-0822
稲城市坂浜878-6
TEL042(331)3655 FAX042(350)1530
(法座:第3日曜日)

(法座へお出かけの折には、必ず電話にて日時をご確認の上、お出かけ下さい。)